平成　　年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	Ⅱ－1－

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※

○受験番号，問題番号，技術部門，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
○解答欄の記入は，1マスにつき1文字とすること。（英数字及び図表を除く。）

（1）EVMについて

EVMは、プロジェクトの進捗やコストを、出来高の価値に換算し、現状況を評価する方法である。以下に、EVMの3つの指標を説明する。

・PV（出来高計画値）：現時点で計画されている工数（コスト）

・EV（出来高実績値）：現時点までに完了した工数（コスト）

・AC（コスト実績値）：現時点までに投入した作業の実コスト

（2）EVMの利点

システム開発の進捗管理で活用できる、EVMの利点は以下のとおりである。

・コストに関する指標が明確：EVMでは、コストに関する指標が明確であるため、スケジュール遅延だけでなく、コスト超過が検出できる。

・全行程で同じ指標：EVMでは、全行程で同じ指標を使って出来高を測定し、進捗状況を把握するため、プロジェクト全体の進捗が把握しやすい。

（3）繰り返し型開発での課題と解決案

・課題：EVMは、アジャイル開発のように計画値が変わってしまう場合、そのままでは適用できない。

・解決策：アジャイル開発では、EVとBACがイコールの場合、開発は完了するが、BACや時間の上限を決め、それを制約条件として開発を進める。

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字